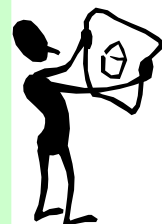
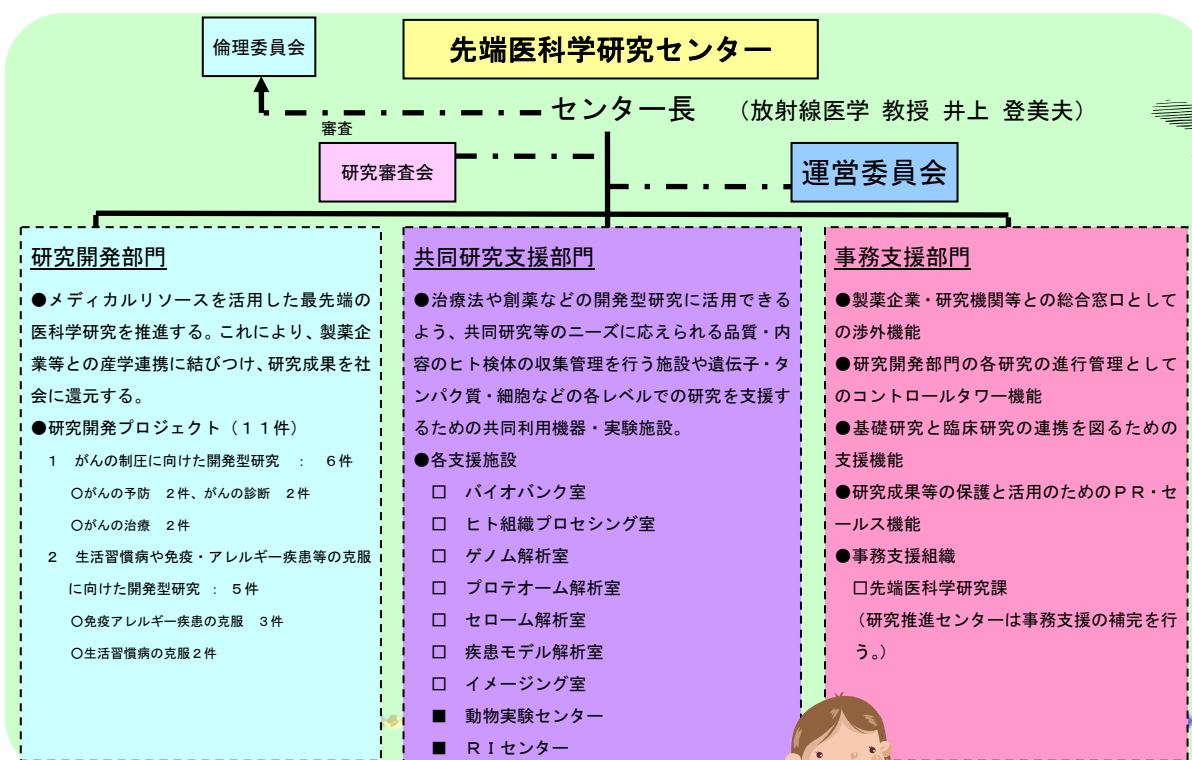




📖 先端医科学研究センターってなに？

横浜市立大学先端医科学研究センターは、**横浜市中期計画**（平成18年度～22年度）の「**がん対策の推進**」事業のひとつとして位置づけられ、優れた基礎医学の研究成果を予防・診断・治療などの臨床の現場で実践できるようにするトランスレーショナルリサーチ（TR）体制の確立を目的として開設されました。当センターでは、臨床の場で得られる患者様の情報や血液・組織等の検体を、患者様の不利益とならないよう十分な安全策を講じて研究者に提供できる**バイオバンクシステム**や、**がん**や生活習慣病の原因究明や最先端の治療法などを開発することを目的とした11件の**研究開発プロジェクト**を進めています。



📖 各計画ではどのように位置付けられているの？

① 横浜市中期計画（18年度～22年度）

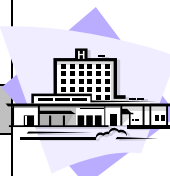
免疫アレルギー疾患や生活習慣病、がんなどの原因究明と、最先端の治療法・創薬など、臨床応用につながる開発型医療を目指した研究を行う先端医科学研究センターを横浜市立大学に整備します。

目標（指標）	17年度末	22年度末
先端医科学研究センター	検討	開設

② 公立大学法人横浜市立大学中期計画（17年度～22年度）

ライフサイエンス都市横浜の一翼を担い、理化学研究所などと連携しながら、免疫アレルギー疾患・生活習慣病・がんなどの原因究明と、最先端の治療法や創薬など、臨床応用につながる開発型医療を指向した研究を行う先端医科学研究センター（仮称）の設置について、横浜市中期政策プランを踏まえて検討する。

目標（指標）	17年度	18年度～
先端医科学研究センターの設置	基本構想Ⅱ策定	検討



🔬 バイオバンク室ではなにをしているの？



将来の治療法や創薬などの研究開発に使用するため、附属病院の患者さんの手術時に抽出した組織を、事前の同意に基づき提供していただき、マイナス80℃で凍結保存しています。今後、検体採取を行う診療科の拡大や血液採取の開始等により、検体の蓄積数を増やしていき、**研究開発プロジェクト**や企業との共同研究に活用し、市民等のみなさまへの還元を行います。

◆検体採取の状況（平成20年8月28日現在）

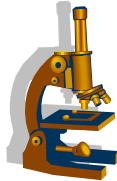
件数	本数	内訳	
271件	2288本	腫瘍組織	1230本
		非腫瘍組織	1058本



🔬 研究開発プロジェクト

ってなに？

「がん対策の推進」事業の一層の推進を図るため、市民等のみなさまの健康増進など研究成果の還元を目指し、本学の持つ技術シーズを活用した最先端の医学研究を行うプロジェクトのことで、2つのテーマをもとに学内公募を行い、平成19年度には9件、平成20年度には2件のプロジェクトを採択しました。



◆平成19年度（9件）

- 1 戦略的中核プログラム「がんの制圧に向けた開発型研究」（がんの予防）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
①	細胞極性によるがんの克服（乳がんの予防と治療に向けた新戦略）	大野 茂男（分子生物学）
②	がんの予防と制御を目指した基盤技術開発（がんの診断）	窪田 吉信（泌尿器病態学）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
③	遺伝子情報に基づいたがん（膵がん、腎がん）のオーダーメイド医療の開発	渡會 伸治（消化器・腫瘍外科学）
④	プロテオミクスによるがんの新規バイオマーカーの開発（がんの治療）	平野 久（生体超分子科学）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
⑤	がん幹細胞を標的とした革新的がん治療法の開発	谷口 英樹（臓器再生医学）

- 2 創造的プログラム「生活習慣病や免疫・アレルギー疾患等の克服に向けた開発型研究」（免疫アレルギー疾患の克服に向けて）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
⑥	エイズワクチンの実用化研究	島田 勝（微生物学）
⑦	網羅的自己抗体解析による新規バイオマーカーの開発（生活疾患の克服に向けて）	青木 一郎（分子病理学）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
⑧	生活習慣病関連遺伝子に基づくオーダーメイド医療の展開	松本 直通（遺伝学）
⑨	生活習慣病予防管理支援のための市民健康ネットワーク（ICT）構築と生活習慣病関連遺伝子解析に基づくオーダーメイド医療の展開	梅村 敏（循環器・腎臓内科学）

◆平成20年度（2件）

- 1 戦略的中核プログラム「がんの制圧に向けた開発型研究」（がんの治療）

No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
①	磁性体抗がん剤の開発	石川 義弘（循環制御医学）

- 2 創造的プログラム「生活習慣病や免疫・アレルギー疾患等の克服に向けた開発型研究」（免疫アレルギー疾患の克服に向けて）

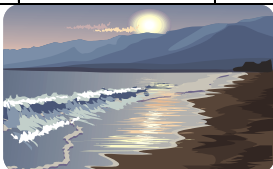
No.	プロジェクト名	プロジェクトリーダー
②	セマフォリンを用いたアレルギー疾患の有効な治療法の開発	五嶋 良郎（薬理学）

🔬 共同研究支援施設について教えて！

名称	場所	管理委員会、(管理者)など
先端医科学研究センター		
バイオバンク室	基礎研究棟B144	先端研（青木 一郎）
ヒト組織プロセッシング室	基礎研究棟B142	先端研、バイオバンク室長（青木 一郎）
セローム解析室	基礎研究棟B143	先端研、セロミクス領域長（谷口 英樹）
イメージング室	基礎研究棟B124	電子顕微鏡室利用者委員会委員長（澤田 元）
疾患モデル解析室	基礎研究棟B123 125	先端研、科学技術振興調整費拠点運営委員会委員長（大野 茂男）
プロテオーム解析室	基礎研究棟B442	先端研、プロテオミクス領域長（平野 久） （先端研副センター長、 科学技術振興調整費研究拠点長）
	基礎研究棟B429	
	基礎研究棟B161	
ゲノム解析室	臨床研究棟A444 （左側）	先端研、ゲノミクス領域長（松本 直通）
動物実験センター		（木内 吉寛）
RIセンター		（三浦 恵）



平成19年度に医学部研究棟の既存スペースを活用し、遺伝子・タンパク質及び細胞の各レベルにおける共同利用機器を設置した「**共同研究支援施設**」を整備しました。ここでは、**横浜市中期計画**の目的達成を目指し、**研究開発プロジェクト**の支援を行っております。また共同利用機器は申請が受理されれば使用することができます。



公立大学法人 横浜国立大学 先端医科学研究センター

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 TEL: 045-787-2527 FAX: 045-787-2509

E-mail: sentan@yokohama-cu.ac.jp http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/index.html

